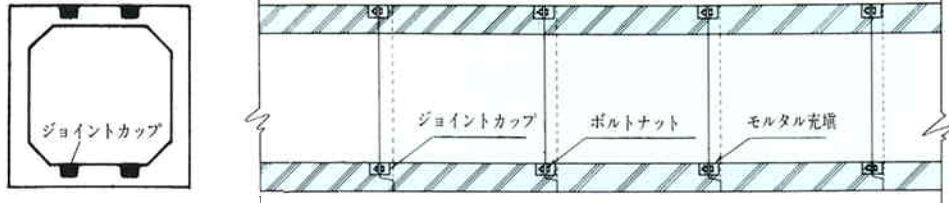


■ 縦連結工法(C Y 式)

特 徴

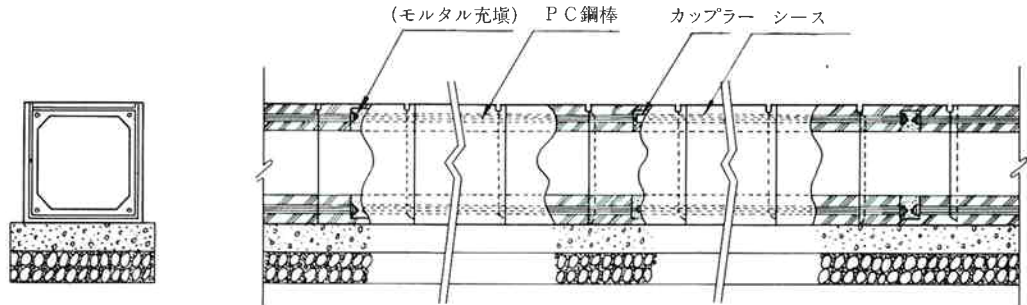
1. 敷設地盤が軟弱な場合にボックスカルバート個々の不同沈下を防ぐ (JC、PRC)
2. 独立基礎にても支承出来る (PRC)
3. ボックスカルバート個々のジョイント部の強化 (JC、PRC)
4. 防水性が高い (JC、PRC)
5. 弾性支承等の場合、連結効果により必要地耐力の低減が図れる。(PRC)

J C 工法 (高張力ボルトによる連続摩擦接合法)

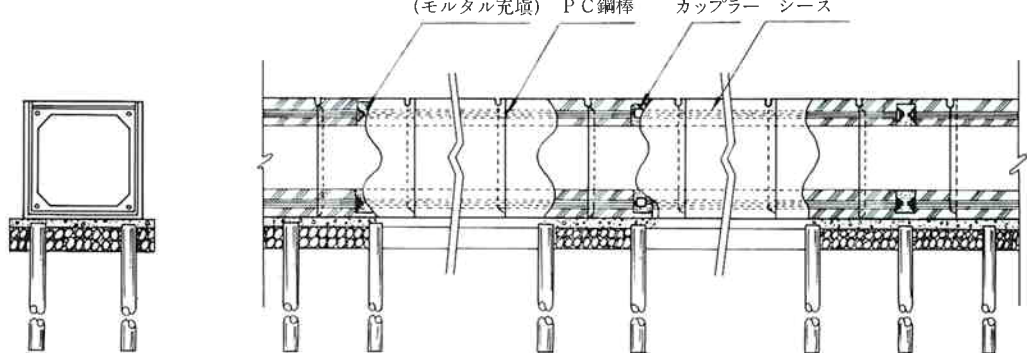


PRC 工法 (PC 鋼棒連結工法)

(1) コンクリート基礎工による敷設



(2) くい打ち基礎工による敷設



■ ジョイント部の目地方法(C Y 式)

方法 1

- ①部 - なし
- ②部 - ①

方法 2

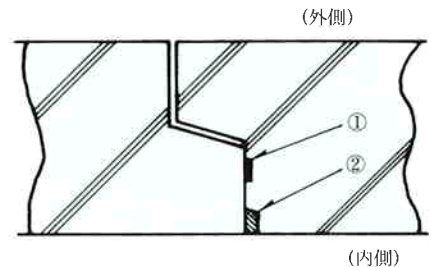
- ①部 - (a)、(c)、(d)
- ②部 - ①

方法 3 (防水性を重視する場合)

- ①部 - (a)、(b)、(c)
- ②部 - (e)、(f)

〔主たる目地材〕

- ① a) ゴム系 (特殊形状)
- b) 水膨張性ゴム系 (棒状)
- c) プチルゴム系 (棒状)
- d) スポンジ系 (棒状)
- e) ウレタン・ポリウレタン系
- f) 無収縮モルタル



注) () 内のいずれかを使用